

授業改善書

科目名	英会話Ⅱ(中級)
担当者	シーハン小田 早苗

授業の概要

中級英会話の授業として、初級に続き TOEIC・英検等の資格試験に備えたリスニング学習にも力を入れながら、日常のさまざまな場面で使用できる会話表現を能動的に学習しました。毎回の授業において、前半はテキストを使用しながらリスニング問題に取り組み、後半では聞き取った会話表現をスピーキング練習ですぐに実践に移す構成としました。また、追加教材を使用しながらロールプレイ・ディスカッションを通しさまざまなコミュニケーション演習に取り組みました。

さらに発展した学習として、近年外国人訪問者が増え続けている状況をふまえ、「英語で東京を案内する」というテーマでグループワークも行いました。また、学期の最後に実施するプレゼンテーション課題を通し、英語をツールとしながら自分の考えやリサーチ結果を述べ、達成感を味わうことができるようモチベーション面にも配慮した授業展開としました。

授業の問題点

例年に比べレベルの高い学生がいる一方、モチベーションの低い学生も多くクラス内のレベル差が大きいことが最大の課題でした。

英語学習に苦手意識を持つ学生の積極的な授業参加を促しつつ上級の学生の知的好奇心も満足させられるような高度な実践コミュニケーション学習も取り入れ、双方のバランスをうまく取りながら授業を構成することに毎回細心の注意を払いました。

学生の授業満足度

学生がコミュニケーションを楽しみながら能動的に会話演習に取り組めるような授業展開を心がけましたが、授業中の学生の様子および授業アンケート結果により、その目標は概ね達成できたと思われまます。ほとんどの受講者が春期の初級英会話から続けて履修していたため、プレゼンテーション課題でも春期からの進歩が確認でき、学生も満足している様子でした。

授業改善の課題と方策

英会話の授業ではありますが、ただなんとなくスピーキングの練習をするにとどまらないよう、文法事項や重要単語フレーズの復習、ロジカルシンキングも取り入れた体系的な授業展開を目指します。

また、将来小学校や幼稚園等で英語を教える立場になる学生のために英語音声学や語用論等、英語教授法の専門的知識に基づいた指導も適宜紹介し、将来ビジネスの場面で英語を使う可能性のある学生のためにはビジネス実践英語も紹介しつつ、学生が自らの将来に向けてビジョンを持つことができるようにサポートしていきたいと思ひます。

その他